



NPO 法人 文化財保存支援機構主催
シンポジウム

今、文化財が社会にできること

URL : www.jcpnpo.org

- 開催日程 : 平成 24 年 1 月 8 日 (日) 9 : 30 ~ (9:00 開場)
(1/7 (土) 14 : 00 ~ 16 : 30 展示の内覧会を行います。入場無料)
- 会場 : 東京大学弥生講堂一条ホール ■ 定員 : 200 名
- 参加費 : 500 円 (資料代) ■ 懇親会費 : 3,000 円

人はなぜ「文化財」を愛し、護りたいと思うのでしょうか？
長い歴史を経て、幾多の危機を乗り越えてきた「文化財」は、私達の社会を人間らしい社会にしてくれるからではないでしょうか。
今、被災地では文化財の救援活動が必死で行われています。人と社会の再生をかけて、今こそ文化財にできることがあるはずです。
新たな年のはじめに、日本の復興について、文化財ができることについて、一緒に考えてみませんか？



後援 (申請中) : 公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟 / NPO 法人 たいとう歴史都市研究会 / NPO 法人 歴史資料継承機構 / NPO 法人 文化遺産保存のための映像記録協会 (NPO RAPch) / 一般社団法人 文化財保存修復学会 / 日本文化財科学会

お問い合わせ、申し込み先 :
特定非営利活動法人 文化財保存支援機構
〒110-0008 台東区池之端 4-14-8 ビューハイツ池之端 102 号
TEL : 03-3821-3264 / FAX : 03-3821-3265
E-Mail : jimukyoku@jcpnpo.org URL : www.jcpnpo.org

※このシンポジウムは、(公財)朝日新聞文化財団の助成を受けて行われます。

1月8日(日)

9:00~ 開場

当日参加可

■開会挨拶と基調講演

9:30~10:15 「市民と文化財(仮題)」
NPO法人 文化財保存支援機構理事長 三輪 嘉六(九州国立博物館長)

■セッション1. 忘却への抵抗

10:15~10:45 「地域を活かす文化財住宅」 小泉和子(昭和のくらし博物館館長)
10:45~11:15 「資料は語る(仮題)」 西村 慎太郎(国文学研究資料館准教授)
11:15~11:30 休憩
11:30~12:00 「甦った向ヶ岡弥生町の歴史」~地域史研究と史跡・遺跡の保存活用の意義~
原 祐一(東京大学埋蔵文化財調査室) / 石原道知(武蔵野文化財修復研究所所長)

12:00~13:15 史跡・遺跡見学会

(「向岡記」碑、国指定史跡弥生二丁目遺跡、「朱舜水先生終焉之地」碑他)

13:15~14:15 昼食休憩

■セッション2. 未来の構築に向けて

14:15~14:45 「被災文化財の救援活動~個人の記録を救うということ」 金野 聡子(紙本修復士)
14:45~15:15 「伝統文化を町の活力にする取り組み」 中村 文美(もば建築文化研究所)

■パネルディスカッション

15:15~16:45 「文化財の力と市民」
コーディネーター: 西浦忠輝(国士舘大学・イラク古代文化研究所 教授)
パネリスト: 三輪嘉六、小泉和子、西村 慎太郎、原 祐一、金野聡子、中村文美

■総括と閉会挨拶

16:45~17:00 NPO法人 文化財保存支援機構理事長 三輪 嘉六(九州国立博物館長)

<懇親会ご参加の方は、会場の片付けと設営にご協力いただけますと大変有り難く存じます>

◎ 懇親会(新年会) <17:30~19:30> 同会場ホワイエにて

■展 示. (10:00~16:00まで)

- 文化財修復事例のパネル展示(日本画、油絵、染織、埋蔵文化財、彫刻、建造物、町並み等)
- 文化財保存関連企業のブース出展

※前日7日(土)14:00~16:30まで、展示物の内覧会を行います。入場無料ですので、是非お越し下さい。

FAX 参加申込書 (03-3821-3265)

■ ご氏名: _____

■ ご住所: 〒 _____

■ 連絡先電話番号: _____

■ E-mail アドレス: _____

■ 懇親会: 出席 / 欠席